

エコアクション21 環境経営レポート (2023年度)



株式会社 イセキ九州

対象期間：2023年1月1日～12月31日

発行日：2024年4月1日

目次

会社概要	2
事業所一覧	3
対象範囲・実施体制	5
環境経営方針	6
環境経営目標と実績	7
各事業所の目標と実績	8
環境経営計画の取組結果・評価	11
環境への取り組み	12
環境関連法規の遵守、違反・訴訟等の有無	19
代表者による全体評価と見直し	20
S D G s	21
次年度の環境経営目標・計画	22
編集後記（巻末）	

会社概要

事業者名	株式会社ヰセキ九州
代表者	代表取締役 村瀬 武志
本社所在地	熊本県上益城郡益城町平田2550番地
事業内容 (認証・登録範囲)	農業用機械器具の販売・修理・使用技術の指導、農業施設の設計・監理・施工、農業資材の販売、コイン精米の経営、民間車検業務
設立	1972年12月12日
資本金	9000万円
売上高	103億円
従業員数	474名（2024年1月1日現在）

環境関連の責任者および担当者連絡先

株式会社ヰセキ九州 本社

〒861-2212

熊本県上益城郡益城町平田2550番地

TEL：096-286-0303

FAX：096-286-0309

環境管理責任者 管理部長 渥海 裕彦

環境管理担当者 管理部総務グループ長 田中 豊治

環境管理担当者 管理部総務グループ 水野 譲二

環境管理担当者 管理部総務グループ 河辺 涼太

環境管理担当者 管理部総務グループ 村上 道志

URL <http://www.isekikyusyu.co.jp>

事業所一覧

拠店	TEL	所在地	認証 対象
本 社	096-286-0303	熊本県上益城郡益城町平田2550	レ
九州アグリサポートセンター	096-286-0710		
福岡営業部	0946-42-1401		
筑紫営業所	0946-42-4692	福岡県朝倉郡筑前町中牟田1175-2	レ
福岡整備センター	0946-42-1401		
宮田営業所	0949-32-1260	福岡県宮若市本城451-1	レ
筑豊営業所	0948-42-0795		
福岡北部整備センター	0948-42-0795	福岡県嘉麻市山野639-3	レ
豊筑営業所	0979-83-3538	福岡県豊前市恒富63-1	レ
糸島営業所	092-331-0020	福岡県糸島市末永439-11	レ
甘木営業所	0946-22-3542	福岡県朝倉市牛木688	レ
吉井営業所	0943-75-2583	福岡県うきは市吉井町681-1	レ
小郡営業所	0942-72-3673	福岡県小郡市福童365-3	レ
大刀洗営業所	0942-77-0050	福岡県三井郡大刀洗町大字本郷1997-1	レ
南筑営業所	0944-63-7799	福岡県柳川市三橋町五拾町186	レ
佐賀営業所	0952-29-5517	佐賀県佐賀市兵庫町大字若宮223-6	レ
長崎営業部	0957-22-2320		
長崎県央営業所	0957-23-1147	長崎県諫早市小野島町2236	レ
長崎整備センター	0957-22-2320		
長崎北営業所	0956-65-2062	長崎県佐世保市江迎町赤坂221	レ
雲仙出張所	0957-78-3997	長崎県雲仙市国見町神代己320-2	レ
熊本営業部	096-286-0333		
熊本整備センター	096-286-0011	熊本県上益城郡益城町安永1400	レ
熊本中央営業所	096-286-2016		
玉名営業所	0968-72-5171	熊本県玉名市小野尻字川丁561	レ
山鹿営業所	0968-43-2252	熊本県山鹿市新町406	レ
菊池営業所	0968-25-2151	熊本県菊池市野間口546-1	レ
熊本北営業所	096-242-3837	熊本県合志市合生3829	レ
阿蘇営業所	0967-22-0054	熊本県阿蘇市一の宮町宮地3365-4	レ
小国営業所	0967-46-4415	熊本県阿蘇郡小国町宮原1849-1	レ
高森営業所	09676-2-0155	熊本県阿蘇郡高森町高森1404-6	レ
大津営業所	096-293-3181	熊本県菊池郡大津町大字町414-1	レ
宇城営業所	0964-22-0310	熊本県宇土市松山町4403	レ
鏡営業所	0965-52-0045	熊本県八代市鏡町内田237	レ
球磨営業所	0966-45-4838	熊本県球磨郡あさぎり町上西127-1	レ
人吉営業所	0966-22-3068	熊本県人吉市瓦屋町1635-1	レ
天草サービスセンター	0969-24-1163	熊本県天草市亀場町食場979-3	レ

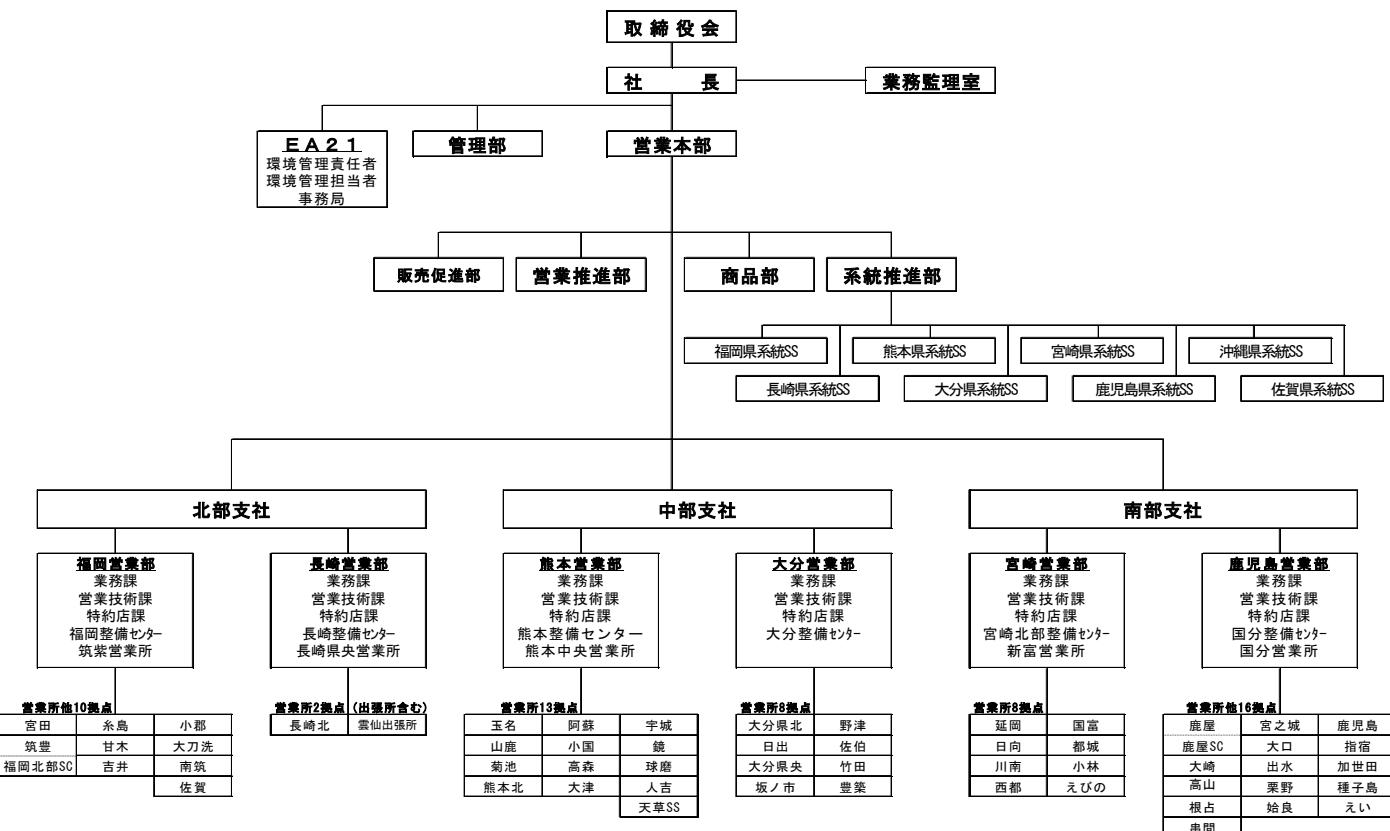
事業所一覧

拠店	TEL	所在地	認証対象
大分営業部	097-543-9161	大分県大分市畠中2丁目9-7	レ
大分整備センター	097-543-9161	大分県宇佐市大字北宇佐2187-1	レ
大分県北営業所	0978-34-7020	大分県速見郡日出町藤原1650	レ
日出営業所	0977-72-5656	大分県由布市庄内町大龍2400-5	レ
大分県央営業所	097-582-3088	大分県大分市屋山547	レ
坂ノ市営業所	097-593-0340	大分県臼杵市野津町大字宮原3837	レ
野津営業所	0974-32-2591	大分県竹田市拝田原499	レ
佐伯営業所	0972-22-0536	大分県佐伯市池田1296-1	レ
竹田営業所	0974-63-1311	宮崎県児湯郡新富町上富田3210-1	レ
宮崎営業部	0983-33-0988	宮崎県延岡市恒富4丁目189	レ
新富営業所	0983-33-4498	宮崎県日向市塩見996-1	レ
宮崎整備センター	0983-33-0988	宮崎県児湯郡川南町川南17698-1	レ
延岡営業所	0982-33-2895	宮崎県西都市岡富1008-6	レ
日向営業所	0982-53-0420	宮崎県都城市下長飯町230	レ
川南営業所	0983-27-0243	宮崎県小林市細野西之川285-1	レ
西都営業所	0983-43-1662	宮崎県東諸県郡国富町本庄1977-1	レ
国富営業所	0985-75-6222	鹿児島県霧島市国分広瀬1628-1	レ
串間営業所	0987-72-0605	鹿児島県鹿屋市笠之原町1788-6	レ
都城営業所	0986-39-2507	鹿児島県曾於郡大崎町假宿552	レ
小林営業所	0984-22-2477	鹿児島県肝属郡肝付町新富578-8	レ
えびの営業所	0984-33-0153	鹿児島県えびの市原田2549-1	レ
鹿児島営業部	0995-45-1911	鹿児島県肝属郡南大隅町根占川南599-1	レ
国分営業所	0995-45-0273	鹿児島県南さつま市柏原2742-4	レ
国分整備センター	0995-45-1911	鹿児島県伊佐市大口原田14-1	レ
鹿屋営業所	0994-42-5161	鹿児島県出水市上知識町1024	レ
鹿屋整備センター	0994-43-3012	鹿児島県姶良郡湧水町米永1908-4	レ
大崎営業所	099-476-0140	鹿児島県指宿市十二町409-2	レ
高山営業所	0994-65-2019	鹿児島県南さつま市金峰町宮崎2841-4	レ
根占営業所	09942-4-2662	鹿児島県南九州市頴娃町牧之内8820-3	レ
宮之城営業所	0996-53-0447	沖縄県島尻郡与那原町字上与那原436(株)くみき内	レ
大口営業所	0995-22-1304	沖縄県南さつま市開成4丁目3-12	レ
出水営業所	0996-62-0414	沖縄県佐賀市開成4丁目3-12	レ
栗野営業所	0995-74-4456	鹿児島県南さつま市金峰町宮崎2841-4	レ
指宿営業所	0993-22-3612	鹿児島県南さつま市開成4丁目3-12	レ
加世田営業所	0993-77-2893	鹿児島県南さつま市開成4丁目3-12	レ
姶良営業所	0995-66-2565	鹿児島県南さつま市開成4丁目3-12	レ
種子島営業所	09972-7-9833	鹿児島県南さつま市開成4丁目3-12	レ
えい営業所	0993-36-2611	鹿児島県南さつま市開成4丁目3-12	レ
鹿児島営業所	099-298-2625	鹿児島県南さつま市開成4丁目3-12	レ
佐賀県系統SS	0952-36-7777	鹿児島県南さつま市開成4丁目3-12	レ
沖縄県系統SS	—	鹿児島県南さつま市開成4丁目3-12	レ

※系統営業部・系統SSは各営業部の従業員数に含める

対象範囲・実施体制

下図は当社「組織図」であると共に、認証・登録範囲について表しています。



担当者	主な役割・責任
代表者（社長）	エコアクション21環境経営システムの統括 経営における課題とチャンスを明確にする 環境経営方針・環境目標・環境計画等についての承認 取り組み全体の評価と見直しの実施および指示
環境管理責任者	全社の環境統括者 環境経営システムの全体的な構築、運用、維持に関する責任と権限 エコアクション21業務全般の取りまとめ
環境管理担当者 (事務局)	環境経営における事務局担当者、環境関連法規の取りまとめ 各種環境データの取りまとめ、環境経営方針・環境目標・環境計画の立案 環境活動に関わる情報発信、環境経営レポートの作成・報告
EA21推進者 (支社長)	管轄内（支社・営業部・営業所・整備センター）の環境統括者
部門長・所属長	各現地における環境経営に基づく目標・計画の推進 緊急事態への対応訓練実施および報告 環境関連の記録と事務局への報告、(一般・産業)廃棄物の管理および報告
全従業員	環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

環境経営方針

環境基本理念

当社は「お客様に喜ばれる製品・サービスの提供」を通じて、持続可能な社会の実現を目指すべく、自然・社会・企業の調和に貢献する環境活動を推進します。
そして2050年までにカーボンニュートラルで持続可能な社会の実現を目指します。

環境基本方針

①継続的改善

環境マネジメントシステムの整備と機能的運用により
環境経営の継続的な改善を実践します。

②環境に配慮した事業活動

カーボンニュートラルを実現する事業活動および製品
サービスの普及を推進します。

③コンプライアンス

環境関連法規および社内規定・ルール等の自主基準を
遵守します。

④環境教育と環境情報公開

すべての従業員が環境意識を持ち、社会へ貢献できる
よう教育・啓発を行うとともに、環境関連情報を広く
公開し社内外とのコミュニケーションを図ります。

株式会社 牛セキ九州
代表取締役社長 村瀬 武志

制定日：平成17年9月30日
改定日：令和2年3月31日
改定日：令和5年3月31日

環境経営目標と実績

環境経営目標（全社）

2020年度実績を基準として、2021年度は1%削減、2022年度は2%削減、2023年度は3%削減とし、新設・統廃合した事業所分を調整。

項目	単位	2020年度 (実績/基準)	2021年度目標 (1%削減)	2022年度目標 (2%削減)	2023年度目標 (3%削減)
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	2,463,097	2,438,466	2,303,912	2,280,767
電力使用量	kWh	958,389	948,805	927,325	896,488
ガソリン使用量	L	525,908	520,649	510,877	505,628
軽油使用量	L	296,392	293,428	290,444	286,150
灯油使用量	L	9,428	9,333	8,846	8,503
LPガス使用量	kg	1,133	1,122	1,089	1,041
一般廃棄物	kg	40,856	40,448	40,039	39,631
産業廃棄物	t	879	排出量を把握する	排出量を把握する	排出量を把握する
水使用量	m ³	9,222	9,130	8,778	8,409
環境配慮製品の販売(CHCNAV)	台	---	---	---	普及の推進
環境配慮製品の販売(アガモロボ*)	台	---	---	---	普及の推進

*産業廃棄物（金属くず、廃プラ、廃油等）は、営業成績に比例するため削減目標とはせず、排出量の把握を行います。

2023年より環境配慮製品の販売は『CHCNAV』『アガモロボ』に目標を変更。

販売し始めたばかりの製品のため、2023年度は数値目標は設定せず、普及の推進を行います。

環境経営実績（全社）

【基準】○：100%以上、△：80%以上～100%未満、×：80%未満

項目	単位	2020年度 (基準)	2023年度 目標	2023年度 実績	対目標(基準のマイナス3%)		
					差異	達成率	判定
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	2,463,097	2,280,767	2,269,138	-11,629	101%	○ 目標達成
電力使用量	kWh	958,389	896,488	860,435	-36,053	104%	○ 目標達成
ガソリン使用量	L	525,908	505,628	487,437	-18,191	104%	○ 目標達成
軽油使用量	L	296,392	286,150	275,794	-10,356	104%	○ 目標達成
灯油使用量	L	9,428	8,503	5,755	-2,748	148%	○ 目標達成
LPガス使用量	kg	1,133	1,041	1,233	193	84%	△ 未達成
一般廃棄物	kg	40,856	39,631	44,245	4,614	90%	△ 未達成
産業廃棄物	t	879	排出量を把握する	919	—	—	○ 実践できた
水使用量	m ³	9,222	8,409	7,653	-756	110%	○ 目標達成
環境配慮製品の販売(CHCNAV)	台	—	普及の推進	155	—	—	○ 普及推進できた
環境配慮製品の販売(アガモロボ*)	台	—	普及の推進	13	—	—	○ 普及推進できた

*電力のCO₂排出係数は、環境省 電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)

2022年度実績の調整後排出係数「0.475 kg-CO₂/kWh(九州電力)」を使用。

各事業所の目標と実績①

主要CO₂排出 3 項目 電気(kw)・ガソリン(ℓ)・軽油(ℓ)

福岡県

福岡営業部（筑紫・福岡整備センター）

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	37,625	40,726	92%
ガソリン	26,328	25,970	101%
軽油	19,600	23,368	83%

宮田

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	10,040	16,523	60%
ガソリン	6,563	7,507	87%
軽油	1,366	2,014	67%

筑豊（福岡県北整備センター）

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	17,896	11,874	150%
ガソリン	8,614	3,456	249%
軽油	2,391	2,989	79%

糸島

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	8,418	12,881	65%
ガソリン	4,826	8,743	55%
軽油	1,314	1,718	76%

甘木

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	16,375	20,119	81%
ガソリン	6,114	5,123	119%
軽油	1,696	1,958	86%

吉井

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	10,317	11,963	86%
ガソリン	6,364	6,920	91%
軽油	1,931	1,085	178%

小郡

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	8,249	8,325	99%
ガソリン	4,943	4,573	108%
軽油	1,301	1,365	95%

大刀洗

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	16,125	15,891	101%
ガソリン	4,969	4,124	120%
軽油	1,233	1,037	118%

南筑

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	15,981	8,022	199%
ガソリン	6,538	6,190	105%
軽油	1,828	1,979	92%

佐賀県

佐賀

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	15,048	12,318	122%
ガソリン	4,819	5,391	89%
軽油	339	186	181%

佐賀系統SS

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	9,190	9,541	96%
ガソリン	17,208	9,611	179%
軽油	8,848	6,388	138%

長崎県

長崎営業部（長崎県央・長崎整備センター）

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	27,922	27,611	101%
ガソリン	15,190	21,807	69%
軽油	7,976	11,035	72%

長崎北

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	6,818	6,368	107%
ガソリン	5,739	5,439	105%
軽油	1,325	1,983	66%

※雲仙出張所は、長崎県央に含む

熊本県

熊本営業部（熊本整備センター）

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	---	---	---
ガソリン	24,761	22,354	110%
軽油	31,371	27,876	112%

玉名

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	6,850	7,126	96%
ガソリン	5,586	5,570	100%
軽油	1,733	1,459	118%

山鹿

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	9,768	9,782	99%
ガソリン	5,633	5,774	97%
軽油	1,726	1,495	115%

菊池

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	6,351	7,451	85%
ガソリン	4,512	5,701	79%
軽油	1,024	1,178	86%

熊本北

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	15,410	11,317	136%
ガソリン	5,014	7,137	70%
軽油	1,995	1,644	121%

阿蘇

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	9,044	13,874	65%
ガソリン	5,101	5,401	94%
軽油	2,294	1,462	156%

各事業所の目標と実績②

主要CO₂排出3項目 電気(kw)・ガソリン(ℓ)・軽油(ℓ)

小国

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	6,050	6,556	92%
ガソリン	5,456	4,988	109%
軽油	3,054	3,113	98%

高森

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	5,563	6,104	91%
ガソリン	5,823	6,423	90%
軽油	2,903	2,351	123%

大津

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	19,296	18,664	103%
ガソリン	8,614	9,868	87%
軽油	2,123	2,396	88%

熊本中央

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	---	---	---
ガソリン	6,786	7,438	91%
軽油	1,827	1,908	95%

宇城

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	6,200	6,947	89%
ガソリン	5,956	7,046	84%
軽油	1,961	2,208	88%

鏡

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	6,863	8,617	79%
ガソリン	4,498	5,388	83%
軽油	1,371	1,221	112%

天草

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	5,387	5,137	104%
ガソリン	2,761	2,231	123%
軽油	1,052	1,343	78%

球磨

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	5,320	7,241	73%
ガソリン	5,727	5,905	96%
軽油	1,808	2,210	81%

人吉

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	7,870	6,667	118%
ガソリン	5,058	3,943	128%
軽油	2,456	1,916	128%

本社

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	219,678	165,315	132%
ガソリン	54,201	42,326	128%
軽油	47,528	43,263	109%

大分県

大分営業部（大分整備センター）

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	30,982	34,810	89%
ガソリン	12,401	15,058	82%
軽油	12,601	10,530	119%

大分県北

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	21,206	21,047	100%
ガソリン	14,545	12,501	116%
軽油	6,429	5,346	120%

日出

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	10,053	11,240	89%
ガソリン	3,145	2,865	109%
軽油	1,648	1,592	103%

大分県央

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	5,028	4,530	110%
ガソリン	4,270	6,255	68%
軽油	1,369	2,040	67%

坂ノ市

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	8,721	10,807	80%
ガソリン	4,738	4,228	112%
軽油	1,012	838	120%

野津

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	4,930	5,349	92%
ガソリン	6,938	6,736	103%
軽油	1,926	1,663	115%

佐伯

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	5,061	5,886	85%
ガソリン	3,909	3,708	105%
軽油	1,641	1,833	89%

竹田

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	6,612	7,669	86%
ガソリン	6,638	8,589	77%
軽油	1,627	3,102	52%

豊築

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	15,870	15,614	101%
ガソリン	3,790	3,199	118%
軽油	1,314	1,230	106%

宮崎県

宮崎営業部（新富・宮崎整備センター）

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	37,820	36,688	103%
ガソリン	18,154	13,408	135%
軽油	19,740	17,026	115%

延岡

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	4,322	6,599	65%
ガソリン	4,719	5,486	86%
軽油	1,380	2,038	67%

日向

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	12,177	12,205	99%
ガソリン	3,767	3,899	96%
軽油	1,148	1,152	99%

各事業所の目標と実績③

主要CO₂排出 3 項目 電気(kw)・ガソリン(ℓ)・軽油(ℓ)

川南

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	10,030	12,599	79%
ガソリン	7,460	6,743	110%
軽油	2,492	2,143	116%

西都

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	10,452	9,635	108%
ガソリン	4,040	3,189	126%
軽油	1,510	1,521	99%

国富

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	5,102	4,063	125%
ガソリン	2,086	2,506	83%
軽油	876	1,178	74%

都城

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	10,595	8,923	118%
ガソリン	7,008	4,998	140%
軽油	2,310	2,457	94%

小林

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	6,964	8,145	85%
ガソリン	3,613	6,518	55%
軽油	1,156	1,999	57%

えびの

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	3,080	4,244	72%
ガソリン	2,991	2,042	146%
軽油	1,104	1,049	105%

鹿児島県

鹿児島営業部 (国分・国分整備センター)

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	40,316	41,604	96%
ガソリン	31,651	31,657	99%
軽油	41,465	38,679	107%

串間

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	3,490	3,449	101%
ガソリン	1,035	1,953	52%
軽油	696	819	85%

鹿屋 (鹿屋整備センター)

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	13,731	12,449	110%
ガソリン	6,622	6,372	103%
軽油	1,734	1,728	100%

大崎

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	9,415	10,046	93%
ガソリン	8,513	8,212	103%
軽油	---	---	---

高山

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	3,127	2,952	105%
ガソリン	4,805	4,153	115%
軽油	1,200	1,185	101%

根占

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	5,676	6,416	88%
ガソリン	5,568	5,281	105%
軽油	1,569	1,414	110%

宮之城

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	5,161	5,947	86%
ガソリン	5,204	5,532	94%
軽油	1,964	1,547	126%

大口

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	10,541	10,737	98%
ガソリン	3,918	4,490	87%
軽油	1,186	1,232	96%

出水

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	5,476	5,907	92%
ガソリン	6,395	6,407	99%
軽油	2,248	2,859	78%

栗野

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	8,659	7,561	114%
ガソリン	5,720	5,475	104%
軽油	1,851	1,407	131%

指宿

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	4,664	8,654	53%
ガソリン	5,308	4,983	106%
軽油	2,184	1,818	120%

加世田

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	6,971	8,873	78%
ガソリン	7,625	7,106	107%
軽油	1,464	1,584	92%

姶良

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	11,962	10,421	114%
ガソリン	6,083	3,810	159%
軽油	1,165	1,142	102%

種子島

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	13,305	11,650	114%
ガソリン	3,799	5,227	72%
軽油	2,442	2,467	98%

顯娃

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	6,011	4,861	123%
ガソリン	5,371	5,019	107%
軽油	1,375	1,009	136%

鹿児島

項目	目標	実績	達成率
電気使用量	5,897	5,895	100%
ガソリン	8,495	7,486	113%
軽油	1,951	1,686	115%

環境経営計画の取組結果・評価

【基準】○：できている、△：できているが改善の余地あり、×：できていない

項目	計画	評価	取組結果
CO ₂ 排出量の削減	エアコン設定温度の表示	○	会社全体として電気使用量削減によるCO ₂ 削減は達成。
	クールビズ・ウォームビズによるエアコン使用期間削減	○	照明のLED化により、電気使用量の削減ができた拠点も増加。
	照明の使用時以外の消灯	○	各事業所、使用していない照明のこまめな消灯およびエアコンの設定温度の遵守に取り組んだ。
	昼休みの消灯	○	
	プラインド・カーテンの効率的な活用	○	
	ガソリン・軽油リシン アイドリングストップの励行	○	エコドライブを実践し、ガソリン・軽油ともに使用量削減達成。
	社用車に不要な荷物を乗せない	○	使用者のエコドライブへの意識付けを継続する。
	同一目的地への相乗り乗車	○	
	ガス灯油 クールビズ・ウォームビズで灯油の使用を控える	○	ウォームビズ(重ね着)等により灯油使用量を抑制し、目標達成。LPガスの使用量は増加で未達成。
	給湯使用時は、極力お湯を溜めて使用	△	
廃棄物	各自治体・地域にあった適切な方法で排出	○	排出方法・分別は適正に行われている。
	極力リサイクルされるように分別	○	一般廃棄物については、拠点の移転、統合の影響もあり増加。
	廃棄物量の削減に努める	△	
	廃棄物置場の適切な表示と分別	○	表示と分別は正しく行われており、指定業者への回収依頼により適正に排出している。
	マニュフェスト管理と適正な分別収集	○	引き続き適性な処分を実施。
水排出	定期的（3ヶ月以内）な計画排出の維持	○	
	水道蛇口付近に節水表示にて注意喚起	○	
	農業機械を預かる際は現場で土・泥を極力落とし洗車時の水使用を控える	○	ひとり1人の節水意識の心がけにより水の使用量は削減できている。
CHCNAV アイガモロボの普及推進	市場への認知度を高め、需要客への積極的なアプローチによる普及推進	○	「CHCNAV」は大きな反響のもと、他社機への後付けも可能なため、堅調に普及推進しています。「アイガモロボ」の普及は緩やかですが、着実に前進しているため、実演・情報提供の更なる強化を図ります。
	大規模農家を中心に実演を強化	○	
	情報提供の拡大（WEBの活用等）	○	

環境への取り組み①（全体）

教育・訓練の実施

- ・環境責任者・推進者クラスの
エコアクション21研修会
- ・各事業所からの環境に関する質疑応答
(事業所訪問時・隨時)
- ・エコアクション21事務局への教育・
打ち合せ(随时)



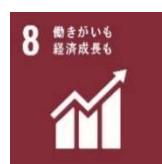
環境コミュニケーションの実施

- ・内部統制会議（月1回実施）
 - ・安全衛生委員会（月1回実施）
 - ・朝礼コンプラ（毎週実施）
 - ・その他、各種会議
- ※できる限りWEB会議を活用し、
移動のガソリン・時間を削減。
- ・朝礼・回覧・社内LANの活用で
環境への取り組みや啓発。



展示会の開催

- ・環境配慮製品の展示
製品の普及による環境活動。
- ・CHCNAV
後付け自動操舵のため、安価に
省人化・省力化・効率化に貢献。
- ・アイガモロボ
省人化・省力化だけでなく、
使用する農薬の削減に貢献。



展示会を通して、環境に配慮した製品の
普及拡大を進めています。

環境への取り組み②（各事業場での活動）

エアコン

冷房28度・暖房22度の設定を基本として、設定温度を抑制することにより電気使用量を削減。



照明

来客時以外の展示場照明の消灯。使用時以外や昼休み等は、こまめに消灯し電気使用量の削減。
事業所ごとに順次LED化を推進し、職場環境の向上を推進。



節水

掲示物による啓発。
水道の出しつまなしの抑制。
水使用量の情報提供による環境意識の向上。



ペーパーレス

ミスプリント裏紙の使用による抑制。
各種書類のデータ保管の推奨・推進。
工数削減の効果にも寄与します。



運転

エコドライブの指導・実践。
効率的な営業ルート(方面・訪問順)の組み立てにより走行距離を抑制して、ガソリン消費量の削減。
工数削減の効果にも寄与します。



環境への取り組み③（提案）

アイガモロボの推進

アイガモロボは水田内を自動で動き、スクリューで水を濁らせることで、除草剤を使わずに雑草が生えにくい状態をつくり、有機栽培における除草の手間を削減します。また、ソーラーパネルを搭載しており、クリーンな太陽光エネルギーを使用し自家発電で動作するため、環境へ配慮した商品となります。

アイガモロボ投入後、自動で稼働するため、手間を省くことができ、農業従事者の作業負担の軽減に貢献します。



CHCNAV(後付け自動操舵)の推進

農機オペレータ不足という課題に対し、CHCNAV自動操舵機器の推進により、非熟練者であっても、農機の操作ができるため、経験の浅い農業従事者など多様な人材の活躍に繋げることができます。

メーカー問わず、既存のトラクターに後付ける機器のため、新規に農機を購入する必要がなく、経済的負担も少なく導入することができます。

また、自動操舵により、同じ精度、同じ時間で作業できるため、農作業の効率化、労働時間を削減するだけでなく、無駄な稼働を抑制し、ガソリン使用量の低減に繋がります。



環境への取り組み④（提案）

スマート農業製品の普及推進

ロボットトラクター・直進アシストなど、ICT技術を活用した農業機械製品の普及・推進により、農業従事者の省力化・時間短縮・業務効率の向上によって大局的な観点からも環境への配慮の一助に繋がります。



マルチローター農薬散布の推進

従来の噴霧器による農薬散布と比較し、大幅な省力化及び農薬使用量の削減に寄与します。

<期待される効果>

作業時間：5～8時間 → 20～30分

農薬使用量：15～20%削減



疎植栽培の推進

坪あたりの植え付け株数を従来より減らして栽培する方法。

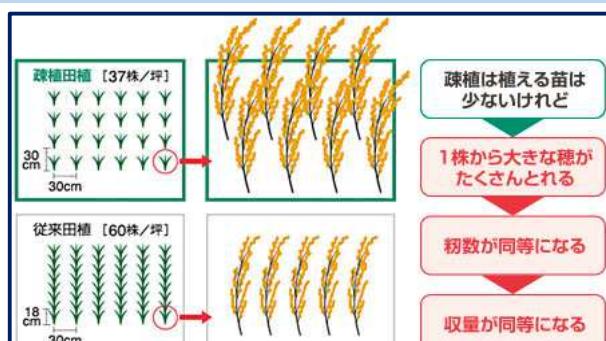
生産者の省力化・低コスト化に貢献！

<生産者も労働時間削減>

労働時間が短縮されることにより、省エネおよび燃費向上に繋がります。

<育苗コストの削減>

省資源で農薬使用量も削減され、環境維持にも貢献します。



環境への取り組み⑤（ツール）

タブレット端末の活用

業務効率化の一環として、すべての営業職・幹部にタブレット端末を支給。

【効果】

- 外出先からパソコン同様の情報取得が可能になり業務時間が軽減（時間外労働の抑制）
- 社内ネットワークにもアクセス可能になり、一時帰社の必要性が減少し移動効率が改善またガソリン消費も抑制されます。
- 製品・部品等、各種リストのペーパーレス
- 紙出力した顧客情報リスト等の個人情報漏洩リスクの軽減。



独自ネットワーク

【i-Magazine（アイ-マガジン）】

タブレット端末やスマートフォンの活用にあたり、オリジナルアプリ『i-Magazine』を開発・導入

- 顧客情報・製品・部品・中古品在庫など情報取得が可能になり業務効率が向上
- 従来、紙出力して携行していた各種リストのペーパーレスに繋がります。



【グループウェア】

外出先からでもグループウェアへのアクセスが可能になり、社内共有情報や連絡などがタイムリーに確認できるようになりました同じくペーパーレス・ガソリン使用量の軽減に繋がります。



環境への取り組み⑥（グループ）

技術開発

【井関農機の認められた確かな技術】

ヰセキ九州社員一同は、販売会社としての仕事を通じ日々農家の方々の立場になり、真摯な対話をしています。

その中から、より良い仕様や新製品につながるようなヒントをメーカーである井関農機へフィードバックしており、それが結果的に新製品の開発、発明及び特許へと結びついています。

今後も省エネ農業機械（低燃費・多機能・高効率）等の環境配慮製品を重点的に販売するとともに、より良い製品づくりを通じて日本の農業・地域環境づくりに寄与して参ります。



1.特許査定率と順位

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
特許査定率(%)	91.8	94.7	97.0	99.2	97.5	100.0	98.1	96.4	97.7	98.7	97.2	94.6
全産業中 順位	2位				6年連続1位			2位		3年連続1位		3位

※特許査定率 = 特許査定件数 / (特許査定件数 + 拒絶査定件数 + 取下・放棄件数)

2.分野別登録(公開)数順位

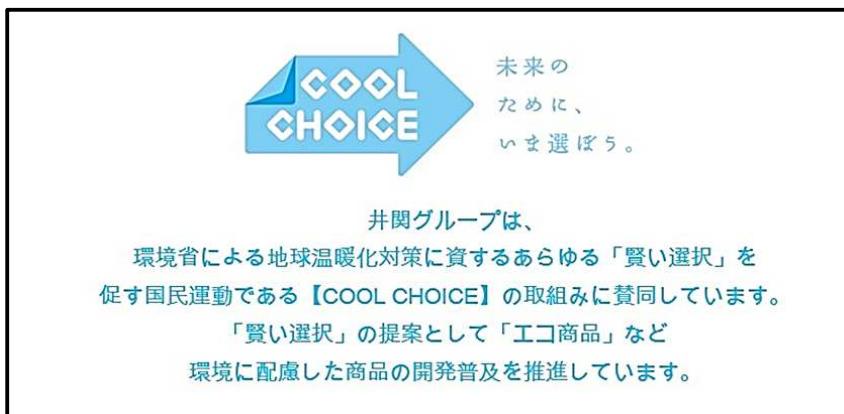
年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
分野								その他の特殊機械				
順位				8年連続1位			2年連続1位	2位	1位		3年連続2位	

※特許行政年次報告書2018年度版では、従来の「分野別公開数」から「分野別登録数」に公表内容が変更されております。

出展：特許行政年次報告書2012年度版～2023年度版に基づく

COOL CHOICE

環境省が掲げる『COOL CHOICE』の取り組みに、ヰセキグループとして賛同しており、エコアクション21の取り組みと紐づけて活動しています。



環境への取り組み⑦

教育

主にスマート農業や食育について、農業高校を中心に多くの教育機関に対して出張講義・体験学習を開催！

【2023年】

熊本県立南陵高校

6月10日 ロボット田植機

9月28日 直進アシストコンバイン

熊本県立北稜高校

9月25日 自動操舵トラクター

熊本県立熊本農業高校

2月20日 自動操舵トラクター

熊本県立八代農業高校

12月 7日 自動操舵トラクター

宮崎県立宮崎農業高校

3月29日 アイガモロボ

4月14日 ロボット田植機

宮崎県立農業大学校

3月22日 アイガモロボ

12月 7日 自動操舵トラクター



電気使用量の『見える化』（本社）

エアコン・照明スイッチの隣に電気保安機器を設置して、電気使用量の『見える化』を実施したことにより、啓発効果と一人一人の意識向上に繋がりました。

前年実績に基づき目標数値を設定して、数値を超えると警告音が鳴るようにして更に節電効果も向上しました。



●季節に合わせて
目標設定を調整

環境関連法規の遵守、違反・訴訟等の有無

環境関連法規等の遵守評価

(遵守 : ○ 対象外 : -)

	環境関連法規名	主な要求事項	対象	本社	北部	中部	南部	佐賀 系統
1	消防法	消火器の設置	全拠点	○	○	○	○	○
2	廃棄物処理法	適正な処理、産廃置場の表示	全拠点	○	○	○	○	○
		委託収集業者の許可証確認	本社のみ	○	-	-	-	-
		マニフェストの保管義務(保管期限5年)	本社のみ	○	-	-	-	-
		マニフェストの交付等状況報告(毎年6月)	本社のみ	○	-	-	-	-
3	毒劇物取締法	販売業者の県への登録	各営業部	○	○	○	○	-
		毒劇物取扱責任者の選任、県への届出	各営業部	○	○	○	○	-
		盗難防止、紛失防止	選任拠点	○	○	○	○	-
		貯蔵場所の表示	選任拠点	○	○	○	○	-
4	農薬取締法	販売届出	各営業部	○	○	○	○	-
		適正管理	全拠点	○	○	○	○	-
5	浄化槽法	浄化槽の保守点検・清掃の義務 年1回の法定検査の実施義務	浄化槽 設置拠点	-	○	○	○	-
6	騒音規制法	規制基準内の遵守 (騒音で近隣から苦情がきていないか)	全拠点	○	○	○	○	○
		騒音規制条例の遵守 届出等	全拠点	○	-	○	○	-
7	家電リサイクル法	不用となったTV・洗濯機・冷蔵庫・エアコンは、 家電リサイクル券を購入し業者へ引き渡す	全拠点	○	○	○	○	○
8	パソコンリサイクル法	不用となったパソコンはメーカーに引き渡す (各拠点は本社へ引き渡し、管理部が一括で業者へ引き渡し)	全拠点	○	○	○	○	○
9	自動車リサイクル法	使用済みとなった自動車を取り扱う業者に 引き渡す	全拠点	○	○	○	○	○
10	フロン排出抑制法	エアコン等の簡易点検実施(3ヶ月に1回) 及び記録保管、廃棄時の適正処理	全拠点	○	○	○	○	○
11	地下水保全条例	熊本県への設備設置の届出、報告(毎年4月)	熊本県	○	-	○	-	-

環境関連法規等の遵守評価

2024年2月13日に遵守状況の確認をした結果、遵守違反はありませんでした。
関係当局からの違反などの指摘、訴訟、及び環境関連の苦情はありません。

代表者による全体評価と見直し

社長への報告事項	社長の全体評価と見直しにおける指示事項
環境経営目標の達成と進捗状況（当該記録参照） <ul style="list-style-type: none"> CO₂排出量の目標は達成しました。 主要CO₂排出3項目(電気・ガソリン・軽油)全てにおいて使用量抑制の目標を達成できました。 全社員の意識向上による取り組み成果ではありますが、事業所の統合・閉鎖や人員減少による影響も大きいと考えられます。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナの5類移行により、世の中の経済活動も活発になり、当社も更なる積極的な活動と業務改善により事業の成長と環境配慮の両立を図り、健全な環境経営を実現すること。 エネルギー使用量が増加したとしても、その増加率以上の成果(収益)となる取り組みを実践し、会社の成長へと繋げていくこと。
環境経営計画の実施及び運用結果（当文書参照） <ul style="list-style-type: none"> 全社展開11年目となり、各事業所においてペーパーレス・節水・エアコン温度設定抑制などは、全社員が積極的に日々取り組んでいます。 一般廃棄物が増加しましたが、事業所の移転・統合等による一時的なものだと考えられます。 環境配慮製品の「環境」「食」に関わる重要性の意識向上を図り社会的意義をもって販売活動を実践します。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域No.1拠点を目指した活動の中で、好事例がある事業所の取り組みは、積極的に水平展開して全事業所のレベルアップに繋げていくこと。 環境配慮製品の推進については、当社の業績向上がそのまま環境の改善や維持へと直結する重要性を再認識し、誇りをもって推進活動に邁進すること。
環境関連法規等の遵守状況・内部監査（当文書参照） <ul style="list-style-type: none"> 遵守自己チェックの結果は問題ありませんでした。 更に内部監査を充実させて、チェック機能を強化していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境内部監査は、業務監理室および各営業部と連携を取りながら充実を図り、P D C Aを回すこと。
外部からの環境に関する苦情・要望等 <ul style="list-style-type: none"> 特にありませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境に関する苦情は無いとしても、商品・サービスへの苦情・要望等へ迅速・的確に対応し顧客満足の向上に努めること。
環境経営方針、環境経営目標、活動計画、環境経営システム <ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物排出量は、営業成績に比例するため数値目標は未設定でしたが、2024年より数値目標を設定します。 今年から『CHCNAV』『アイガモロボ』の普及推進を目標に取り入れ、着実に伸びる手応えもありました。 2024年からは数値目標を設定し、更に強化を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ヰセキグループ全体として環境経営およびCO₂削減には注力しており、できる限り数値化し具体的な活動を指示し、全社員が共有意識を持って取り組むこと。 『CHCNAV』『アイガモロボ』等の環境配慮製品については実演による提案の強化図り、更なる普及を推進すること。
その他、運用上の問題点 <ul style="list-style-type: none"> 特にありません。 	
実施体制 <ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者・環境管理担当者で推進しています。 本社各部門及び各支社の支援活動と、各事業所の環境推進者による日常的な推進を維持しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も環境活動の必要性と意義を、全社員が常に意識し営業活動に生かすことにより、生産性の向上に努めること。

株式会社ヰセキ九州 代表取締役社長 村瀬 武志

持続可能な開発目標 SDGs : Sustainable Development Goals

SDGsとは先進国・途上国すべての国を対象に、経済・社会・環境の3つの側面のバランスが取れた社会を目指す世界共通の目標として、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。（2015年9月に国連で採択されました）

貧困や飢餓、水の保全、教育、医療、言論の自由やジェンダーなど、人々が人間らしく暮らしていくための社会基盤を2030年までに達成するという目標になっていて、17のゴール（目標）とそれぞれの下に具体的な169項目のターゲット（達成基準）があります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



ヰセキ九州では、これまで継続して取り組んできたエコアクション21に関する環境活動を取り入れて、SDGsの活動にも取り組んでまいります。

次年度の環境経営目標・計画

2023年度実績を基準として、2024年度は1%削減、2025年度は2%削減、2026年度は3%削減とする。

(新設・統廃合した事業所分は調整済み)

項目	単位	2023年度 (実績/基準)	2024年度目標 (1%削減)	2025年度目標 (2%削減)	2026年度目標 (3%削減)
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	2,269,138	2,246,447	2,223,756	2,201,064
電力使用量	kWh	860,435	851,831	843,226	834,622
ガソリン使用量	L	487,437	482,562	477,688	472,814
軽油使用量	L	275,794	273,036	270,278	267,520
灯油使用量	L	5,755	5,698	5,640	5,583
LPガス使用量	kg	1,233	1,221	1,209	1,196
一般廃棄物	kg	44,245	43,803	43,360	42,918
産業廃棄物	t	919	910	901	892
水使用量	m ³	7,653	7,576	7,500	7,423
環境配慮製品の販売(CHCNAV)	台	155	300	経営計画による	経営計画による
環境配慮製品の販売(アイガモロボ)	台	13	15	経営計画による	経営計画による

【事業所の増減分を調整して目標設定】

※電力のCO₂排出係数は、環境省 電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)

2022年度実績の調整後排出係数「0.475 kg-CO₂/kWh(九州電力)」を使用し、実績算出、目標を設定。

※環境配慮製品の目標は、毎年の経営計画にて策定します。

項目		2024年度 計画
CO ₂ の削減排出量	電力	エアコン設定温度の表示、クールビズ・ウォームビズによるエアコン使用期間削減
		照明の使用時以外の消灯、昼休みの消灯、ブラインド・カーテンの効率的な活用
	ガソリン	アイドリングストップの励行、効率的な走行ルート(走行距離のムダ削減)
	軽油	社用車に不要な荷物を乗せない、同一目的地への相乗り乗車
	灯油	クールビズ・ウォームビズで灯油の使用を控える
	ガス	給湯使用時は、極力お湯を溜めて使用
廃棄物	一般	各自治体・地域にあった適切な方法で排出、極力リサイクルされるように分別
		廃棄物量の削減に努める
	産業	廃棄物置場の適切な表示と分別、定期的(3ヶ月以内)な計画排出の維持
		マニュフェスト管理と適正な分別収集
水排出		水道蛇口付近に節水表示にて注意喚起
		農業機械を預かる際は、極力現場で土・泥を落とし洗車時の水使用を控える
CHCNAV アイガモロボの普及拡大		地域性を重視し各支社の目標台数を決定し、需要客への積極的なアプローチによる販売強化
		大規模農家を中心に実演の強化
		情報提供の拡大(WEBの活用等)

編集後記

2023年度の「環境経営レポート」は、以上のとおりです。

今年も無事「環境経営レポート」を発行することができたのは、本社、支社、営業所の環境推進者及び各担当者のお力添えによるものです。この場をお借りして感謝申し上げます。

また、お客様はじめ当社に関わる多くの方々に、ご高覧頂ければ幸甚でございます。

今後とも当社をよろしくお願ひ申し上げます。

株式会社 キセキ九州 本社管理部
ありがとうございました。